

令和7年度 学校評価 報告書

学校評価アンケート結果

～内容～

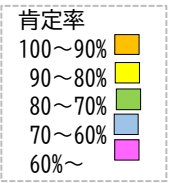
- 1 保護者アンケート（R7 1学期～2学期 比較）
- 2 生徒アンケート（R7 1学期～2学期 比較）
- 3 教員アンケート（R7 1学期～2学期 比較）

松山市立椿中学校

令和7年度 学校評価報告書（松山市教育委員会統一様式）と本校の各評価文言一覧と第1回、第2回の結果

【評定】 4：とても思う（あてはまる） 3：やや思う（あてはまる） 2：あまり思わない（あてはまらない） 1：全く思わない（あてはまらない） 0：分からない(保護者アンケートのみ)

【総合判定】 A：肯定率の平均が90％以上 B：肯定率の平均が60％以上90％未満 C：肯定率の平均が60％未満



分析

◎成果強

○成果弱

一現状維持

▲課題有

評価領域	評価指標	番号	評価項目(保護者)	第1回			番号	評価項目(生徒)	第1回			番号	評価指標(教職員)	第1回		
				肯定率	肯定率	留意点			肯定率	肯定率	留意点			肯定率	肯定率	留意点
教育課程・学習指導	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	1	お子様は、授業や学校行事を通じて、やりがいや達成感を味わうことができている。	80%	85%	—	1	私は、授業や学校行事に積極的に取り組み、やりがいや達成感を味わうことができている。	93%	93%	—	1	松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	97%	97%	—
	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	2	お子様から、タブレット、PCだけでなく教科書やプリントなども活用した授業の話をよく聞いたことがある。	70%	71%	—	2	それぞれの授業で、タブレット・PCなどのICT機器だけでなく、教科書やプリント等もよく使われている。	97%	97%	—	2	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	97%	97%	—
	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	3	学校は、定期テストや新体力テストを計画的に実施し、学習の情報等を提供してくれる。	91%	87%	○1	3	学校は、定期テストや新体力テストを計画的に実施し、良い結果に結びつくように相談にのってくれる。	87%	82%	—	3	学校は、生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	100%	97%	—
	学校は地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	4	学校は椿校区の地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う生徒の育成をしてくれる。	71%	82%	—	4	学校は椿校区の地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う心・思いを教えてくれる。	80%	84%	—	4	学校は地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う生徒の育成に努めている。	94%	97%	▲1
人権・同和教育	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	5	お子様は、いじめや差別を許さない思いやりのある子どもに育ってきている。	98%	97%	○1	5	私は、道徳の授業でよく考えて学んだことをもとに、いじめや差別をしない、見過ごさないように努めている。	96%	96%	○1	5	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	100%	97%	—
	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	6	お子様は、学校のきまりを守って生活することができている。	81%	83%	○1	6	私は、学校のきまりを理解し、ルールを守って生活することができている。	94%	94%	—	6	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	100%	90%	—
キャリア教育	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	7	お子様は、進路に関する学習を通して、自分の進路や学習面について考えることができている。	67%	69%	▲1	7	私は、進路に関する学習を通して、自分の進路や学習面について考えることができている。	86%	87%	▲1	7	学校は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える生徒を育てている。	100%	97%	—
安全管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	8	お子様は交通安全に気を付けて、登下校したり、防災について家庭で話したり、考え、行動したりすることができている。	91%	88%	○1	8	私は、安全面に注意して登下校し、防災について考え、命を守ることの大切さを理解できている。	96%	98%	—	8	学校は、生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	100%	94%	—
保健管理	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	9	お子様は、心身の健康に関心を持ち、自らの健康管理に努めている。	78%	77%	▲1	9	私は、適度な運動をしたり、適切な水分補給をしたりするなど、自らの健康管理に努めている。	87%	89%	—	9	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、生徒の健康保持・増進に努めている。	100%	97%	—
	学校は、換気や手指衛生などの、基本的な感染症対策を行っている。	10	お子様は、状況に応じたマスクの着用や手洗いなど日頃から感染症予防に努めている。	89%	99%	—	10	私は、状況に応じたマスクの着用や手洗いなどをして、感染等の予防に努めている。	93%	94%	▲1	10	学校は、換気や手指衛生等の基本的な感染症対策を行っている。	100%	94%	—
特別支援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	11	学校は、配慮を要する生徒に対して個に応じた指導を行っている。	66%	58%	—	11	先生たちは、頑張った時には、ほめてくれる。また、先生たちに相談した時には、真剣に話を聞き、誠実に対応してくれる。	93%	88%	○1	11	学校は、特別支援教育の視点をもって教育活動に取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	100%	90%	—
組織運営	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	12	学校は、相談事案等について、組織として適切な判断や対応を行っている。	62%	59%	—	12	学校は、相談事案など、困ったことがあれば、いろいろな先生が対応してくれる。	81%	87%	○1	12	学校は、管理職や学年主任等を中心として組織的に対応を行っている。	94%	94%	—
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	13	お子様から授業がタブレット（ロイロノート等）を使用するなど工夫され、授業内容が分かりやすいなどの話を聞くことがある。	57%	49%	—	13	先生たちは、楽しい授業やよく分かる授業になるように工夫している。	97%	92%	—	13	子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	94%	94%	—
保護者・地域との連携・情報提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	14	学校は、教育活動の充実に向けて、地域や保護者と連携・協力している。	76%	68%	—	14	学校は、地域の方や外部講師を取り入れた授業や活動をしている。	91%	89%	—	14	教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	94%	97%	—
	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	15	学校は、学校便り、ホームページ、tetoru等を通して、学校の取組について適切に情報発信している。	96%	92%	◎1	15	学校は、ロイロノートやホームページ、学校だよりなどで情報をよく発信している。	91%	94%	○1	15	学校は、学校・学年だよりやホームページ等により、積極的に情報を発信している。	97%	100%	○1
教育環境	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	16	学校は、環境が整備されており、掲示物なども充実している。	84%	74%	—	16	学校内は、校舎内外の掲示物がよく整っており、清掃もゆきとどいている。	87%	84%	—	16	板書の工夫等の言語活動の整備及び展掲示の充実等の環境整備に努めている。	100%	97%	—
幼保小中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	17	学校は、小学校とは違う中学校での生活面や部活動、学習面等について、お子様の不安が軽減するよう努めている。	68%	64%	—	17	学校は、小学校とは違う中学校での生活面や部活動等について、話を聞いてくれたり相談にのってくれたりする。	84%	85%	—	17	学校は、中1ギャップの解消につなげるために関係校で連携し、生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	90%	94%	—
	学校は、関係園・校で連携し、児童生徒に対する教職員の理解や、児童生徒の相互理解の促進を図っている。	18	学校は、お子様の健康面や学習面等の個々の状況を理解し対応している。	81%	67%	—	18	学校は、生徒の健康面や学習面など、個々の状況を理解し、対応してくれる。	91%	88%	—	18	学校は、関係校で連携し、生徒に対する教職員の理解や、生徒の相互理解の促進を図っている。	97%	87%	—

学校評価：保護者 アンケートによる分析内容

【2 学期学校評価について】

- 1 18 問の設問のうち、肯定率が 70%以上の回答を得たものが 11 問であり、概ね良好な評価をいただいていると考えられる。
- 2 肯定率（評価：4 と 3）の高い項目
 - ① 「お子様はいじめを許さない思いやりのある子どもに育てている」・・・97%
 - ② 「お子様は学校の決まりを守って生活できている」・・・96%
 - ③ 「学校はホームページ等を通して学校の取組を適切に情報発信している」・・・92%
 - ④ 「学校は定期テストや新体力テストを計画的に実施し、学習の情報を発信してくれる」・・・87%
- 3 肯定率の低い項目
 - ① 「お子様は自分の進路や学習面について考えることができる」・・・69%
 - ② 「授業でタブレット、教科書やプリントだけでなく、P C を活用していることを聞いている」・・・71%
 - ③ 「お子様は自らの健康管理に努めている」・・・77%

（注）No. 4、11、12、13、14、16、17、18 は、「分からない」の回答率が高かった
ので、評価の判断は保留した。

【今後の取組】

- 保護者が、学校の行事・授業等に積極的に参観できる意識の向上を図る具体策を考え実施する。
- それぞれの学年に応じた進路学習を行い、将来の目標・夢につながる学習を実施する。
- 引き続き、学校の取組内容について、ホームページ等を利用し積極的に情報発信していく。

【1 学期と 2 学期の学校評価の比較について】

- 2 学期の評価は、1 学期に比べて肯定率が微減のものがあるが、概ね肯定率が高い傾向にある。
- 2 学期は、行事・授業等での生徒の様子を見る機会があったが、「分からない」と回答した割合が増えているので、生徒の学校での活動様子をホームページ等で発信していく。
- 「自分の進路や学習面に対して考えることができる」では、「4 と 3」の評価の肯定率が増加傾向にある。
- その反面、「お子様は自らの健康管理に努めている」、「学校は環境整備がよくされている」については、「4 と 3」の評価の肯定率が減少傾向にある。

【今後の課題】

- 1 全般に評価「3」を占める割合が高い。評価「4」が増加するように、更に教育活動や家庭との連携を充実させていくよう努めていくことが求められる。
- 2 「学校はホームページ等で適切な情報発信をしているか」では評価の肯定率は毎年高くなっているが、学校の教育活動を校内外の多くの方に更に認識してもらうために、閲覧の呼び掛けを継続して行う必要がある。
- 3 学習面、生活面等において、生徒に自覚と責任を持たせる。一人一人の生徒の様子を見て、頑張っている部分については認めて褒めたり、できていないところについては声掛け等の支援や指導をしたりするなど継続的に行っていく。

学校評価： 生徒 アンケートによる分析内容

【2 学期学校評価について】

- 1 肯定率（評価：4 と 3）の高い項目が多い。特に、2、5、8 の設問では、肯定率が 95%以上と高い自己評価となっている。
- 2 （評価：4）の割合が、1 学期よりも 2 学期の方が高くなっている項目がやや多い。
- 3 評価「4 と 3」の割合が高い設問
 - ① 「安全面に注意して登下校するなど命を守る大切さを理解できている」…98%
 - ② 「授業では、I C T だけでなく教科書やプリント等が使われている」…97%
 - ③ 「道徳の授業を通して、いじめや差別をしない、見過ごさない」…96%
 - ④ 「学校のきまりを理解し、ルールを守って生活できる」…94%
 - ⑤ 「状況に応じたマスクの着用や手洗いなど、日頃から感染症等の予防に努めている」…94%
 - ⑥ 「学校はロイロ、HP、学校だより等で情報を発信してくれる」…94%
- 4 評価「4 と 3」の割合が低い設問
 - ① 「学校は、定期テストや新体力テストを実施し、良い結果になるように努めてくれる。」…82%
 - ② 「学校は、小学校とは違う生活面や学習面で相談にのってくれる」…84%

【1 学期と 2 学期の学校評価の比較について】

肯定的な回答(4、3)は、微増減はあるが概ね 1 学期と同じ傾向にある。

「道徳の授業を通して、いじめや差別をしない、見過ごさない」は 4 が +3 ポイント、3 が -3 ポイント

「安全面に注意して登下校するなど命を守る大切さを理解できている」は 4 が +3 ポイント、3 が -1 ポイント

「学校は、小学校とは違う生活面や学習面で相談にのってくれる」は 4 が +0 ポイント、3 が -3 ポイント

【今後の取組】

- 進路指導を計画的に行い、生徒が自分自身の進路面や学習面を真剣に考えることができる取組を実践する。
- 自らの健康管理を意識させ、マスクの着用や教室の換気等に取り組ませる。
- 日頃から、より多くの生徒に声を掛けるなどの生徒支援を心がけ、生徒に寄り添える体制を引き続き実践する。

学校評価： 教職員 アンケートによる分析内容

【2 学期学校評価について】

- 1 肯定率（評価：4 と 3）の高い項目が多い。特に 1、2、3、5、7、9、14、15、16 の設問では、肯定率が 95%以上と高い自己評価となっている。
- 2 1 学期と 2 学期の（評価：4）の割合が、高い項目の数は同じである。
- 3 評価「4 と 3」の割合が高い設問
 - ① 「学校は学校・学年だよりや HP 等で、情報を発信している」…100%
 - ② 「松山の授業モデルをもとに、授業や行事等に積極的に取り組み、達成感を味わえる。」「授業の指導でアナログとデジタルの良さを生かした授業改善をしている」、「生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導をしている」、「学校はいじめや差別を許さない意識や態度を育てている」、「進路や生き方について考える生徒を育てている」、「家庭と連携して生徒の健康保持・増進に努めている」、「教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携している」、「板書や展掲示の充実等の環境整備に努めている」…97%
- 4 評価「4 と 3」の割合が低い設問
 - ① 「学校は地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う生徒の育成に努める」、「関係校で連携し、生徒に対する教職員の理解や生徒の相互理解の促進を図っている」…87%

【1 学期と 2 学期の学校評価の比較について】

肯定的な回答(4、3)は、微増減はあるが概ね 1 学期と同じ傾向にある。

「生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導をしている。」は 4 が－3 ポイント、3 が＋0 ポイント

「家庭と連携して生徒の健康保持・増進に努めている」は 4 が＋0 ポイント、3 が－3 ポイント

「管理職や学年主任等を中心として組織的に対応を行っている」は 4 が＋1 ポイント、3 が－2 ポイント

肯定率（評価：4 と 3）の割合が 100%の項目がある。

「学校は学校・学年だよりや HP 等で、情報を発信している」…100%

4 が－4 ポイント、3 が＋7 ポイント

【今後の取組】

○家庭や地域と連携をし、進路面、学習面、健康管理等に真剣に考えることができる取組を実践する。

○日頃から、より多くの生徒に声を掛けるなどの生徒支援に心がけ、生徒に寄り添える体制を引き続き実践する。